令和８年６月２３日

福井県健康福祉部健康医療局保健予防課
担 当 者　谷口、大久保
電話番号　０７７６－２０－０３５１
福井県健康福祉部健康医療局医薬食品・衛生課
担 当 者　朝倉、五十嵐
電話番号　０７７６－２０－０３５４

報道機関各位

ネコの重症熱性血小板減少症候群（ＳＦＴＳ）の発生に伴う注意喚起について

１　概　要

県内の動物病院から健康福祉センターに対し、ネコの重症熱性血小板減少症候群（以下「ＳＦＴＳ」という。）を疑う症例についての相談があり、衛生環境研究センターにおいて検査を実施したところ、ＳＦＴＳウイルスの陽性が確認されました。

なお、ＳＦＴＳは人と動物の共通感染症ですが、今回の事例については、現時点で、飼い主や獣医療関係者への感染は確認されていません。

※本発表は、感染症の発生を防止するため、県民へ注意喚起を行うものです。
報道に当たっては、飼い主のプライバシー保護の観点から特段の御配慮をお願いします。

動物種	主な症状	飼育環境	マダニ寄生	陽性確認
ネコ	発熱、食欲低下、黄疸、嘔吐、白血球減少、血小板減少	屋内および屋外	不明	6/22

２　ＳＦＴＳについて

- ＳＦＴＳウイルスに感染することにより引き起こされる感染症であり、主にウイルスを保有しているマダニに刺されることで感染します。
- ウイルスに感染した犬や猫に咬まれたり、血液などの体液に直接触れたりすることで人に感染することもあります。
- 人に感染した場合、主な症状は発熱、消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）であり、ときに、頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴います。

県民の皆様への注意喚起

１　マダニに刺されないようにしましょう

① 草むら、やぶ等に入る場合には、長袖、長ズボン、手袋、長靴等を着用し、肌の露出を少なくしましょう。
② 服の上や肌の露出部分にダニ忌避剤（ディート、イカリジン）等を適切に使用しましょう。
③ 屋外活動後は、マダニに刺されていないか確認し、シャワー等で身体を洗い、服を着替えましょう。

２　もしマダニに刺されてしまったら

① マダニに刺されたら、無理に引き抜こうとせず、皮膚科など医療機関で処置してもらいましょう。
② マダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が現れた場合はすみやかに医療機関で診察を受けてください。その際、マダニに刺されたことを医師に説明してください。

３　動物からＳＦＴＳウイルスに感染しないために

① 動物を飼育している場合、過剰な触れ合い（口移しでエサを与えたり、動物を布団に入れて寝たりすることなど）は控えてください。
② 飼育している動物の健康状態の変化に注意し、動物が体調不良の際には、マスク、手袋などを着用し、咬まれたり舐められたりしないように注意したうえで、動物病院で診てもらってください。
③ ペットがマダニに刺されないようにしましょう。散歩後にはペットの体表をチェックしてください。ダニ駆除剤も有効ですので獣医師に相談しましょう。
④ 野生動物は、どのような病原体を保有しているか分かりません。野生動物との接触は避けてください。